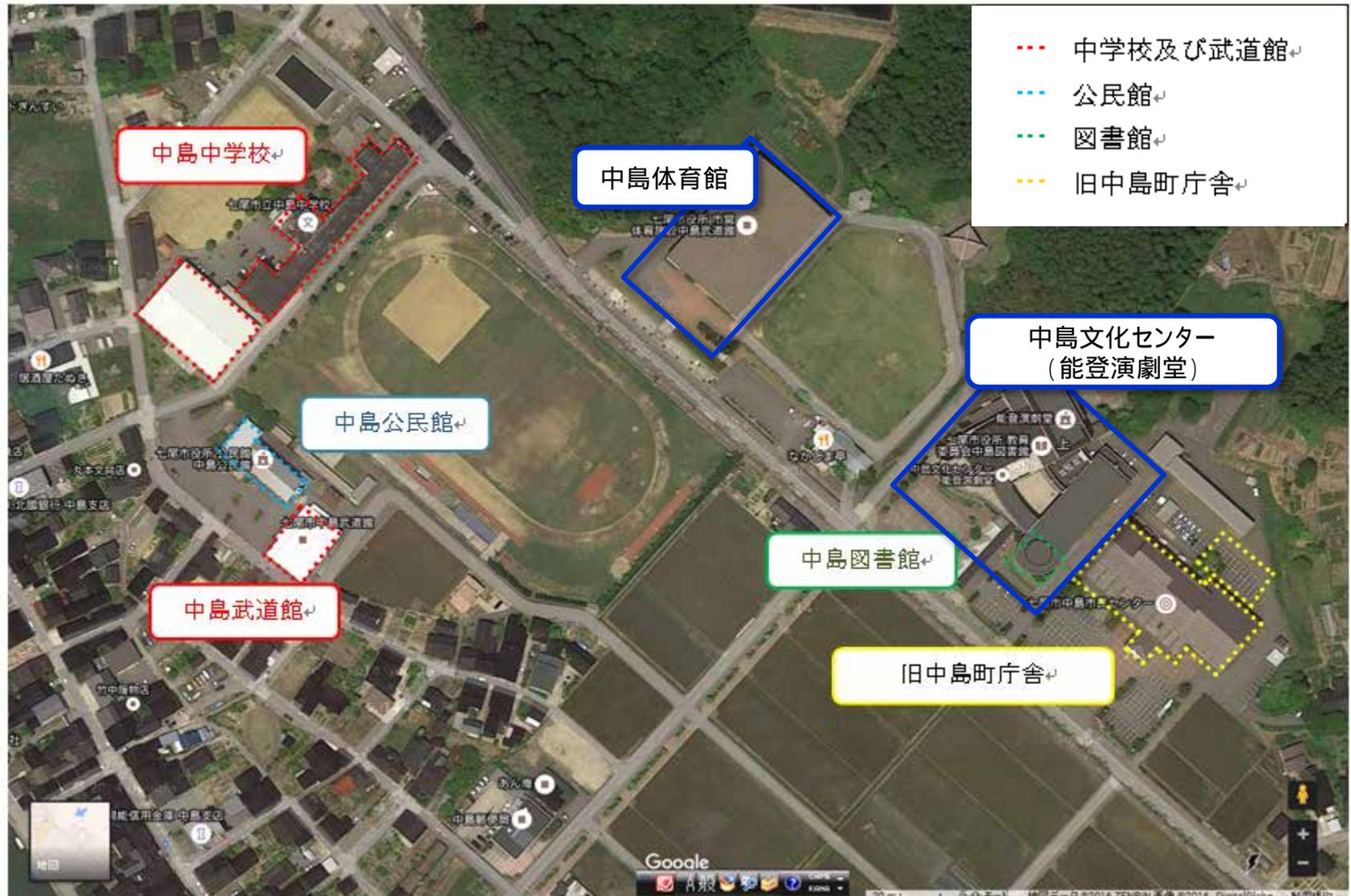


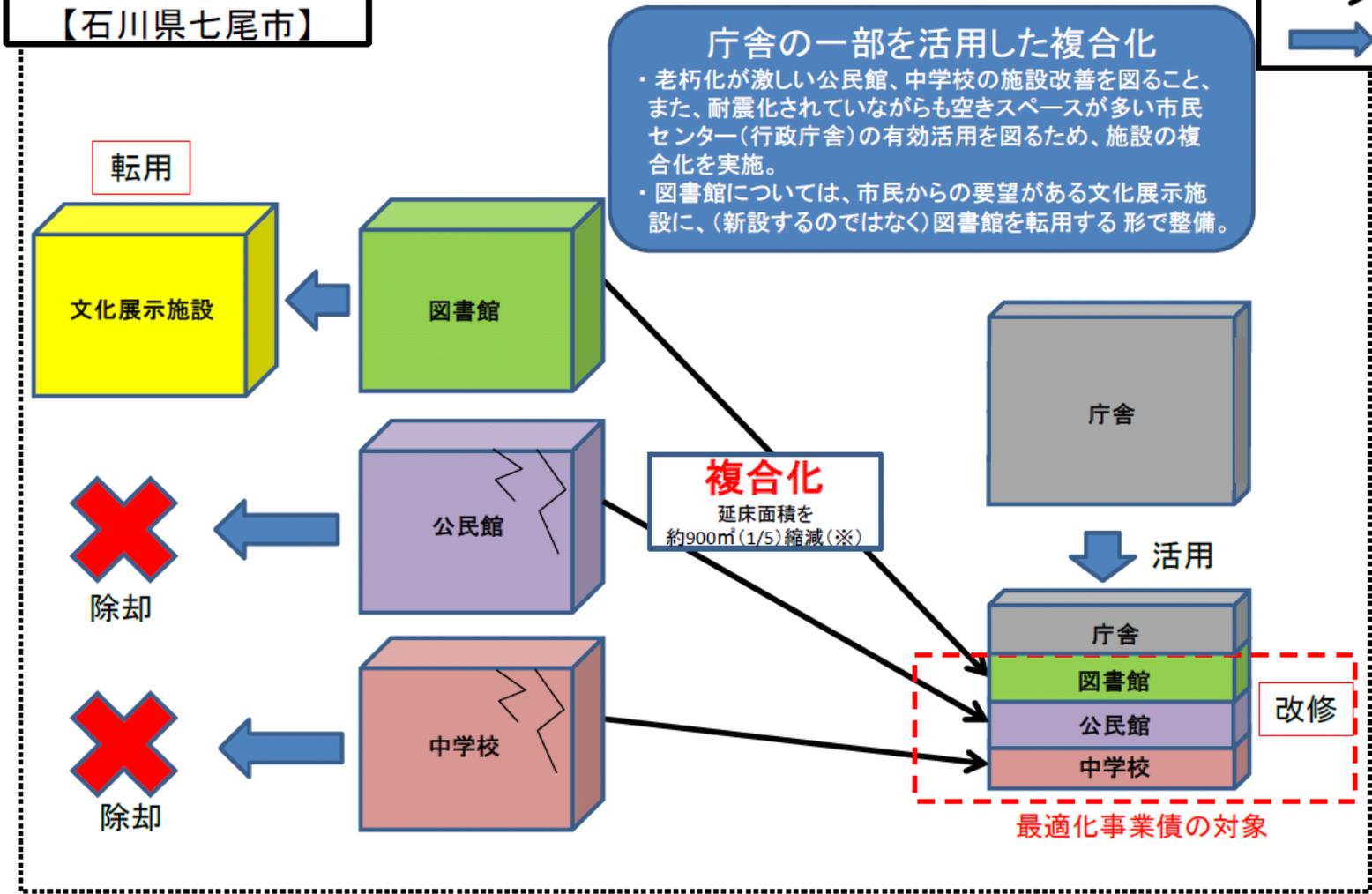
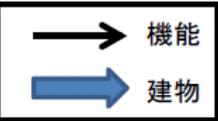
(2) 中島地区中心部の公共施設配置状況



(3) 事業概要

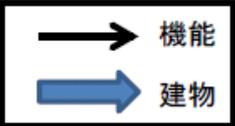
～公共施設最適化事業債を活用した先進事例について～

庁舎との複合化 【石川県七尾市】



※ 最適化債の対象外施設も含めると延床面積を約4,900㎡(1/2)縮減
【出典】総務省ホームページ

体育館
【石川県七尾市】



中学校に附随する体育館
・老朽化対策として、中学校体育館と武道館の集約化にあたり、近隣の体育館と連携することで大幅にダウンサイジングした新たな学校体育館として整備。また、地域に開放された施設としても活用。



除却



学校体育館

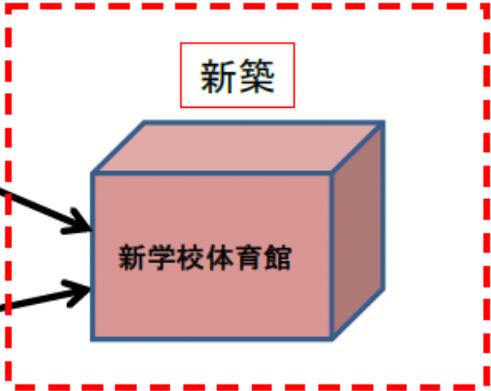


除却



武道館

集約化
延床面積を
約1,800㎡(3/4)縮減



新築

新学校体育館

最適化事業債の対象

(4) 集約・複合化による旧中島町庁舎の利用状況

【旧庁舎棟】(校舎棟)

【旧庁舎駐車場】
(体育館棟)



5. 集約・複合化にあたっての課題

(1) 地域住民・議会の理解

公共施設は、当該地域のシンボリックな施設であり、閉鎖に対する地域住民や議会に理解されにくい。

(2) 施設の処分にかかる国庫補助金の納付

未利用となる施設を含め、国の補助事業により整備した施設の処分(転用、譲渡、除却)にあたり、その承認を得るために国庫補助金の納付条件が付される場合がある。そのため、集約・複合化する施設を変更しているのが現状である。

(3) 未利用となる施設

地域の特性から、未利用となる建物は、行政以外の利用は考えにくく、また、解体についても、多額の資金を要することから、すぐに行えないのが現状である。

結果として、施設を維持することとなり、点検委託業務など維持管理費を負担せざるを得ない状況になることも少なくない。

(4) 施設整備の財源

集約・複合化にあたり、施設の改修等が必要となることも多く、財政状況が厳しい地方自治体にとっては、その財源の捻出が大変困難な状況である。

6. 集約・複合化の推進に向けて

(1) 国庫補助金納付条件の緩和

未利用となる施設を含め、国の補助事業により整備した施設について、集約化や複合化を理由として処分(転用・譲渡・除却)する場合に、国庫補助金の納付条件が緩和されることで、地域が理想とする集約・複合化事業がさらに進むと考える。

(2) 地方債における解体費の取扱い

未利用となる施設は、非耐震化施設や老朽施設であり、解体撤去が望ましい。しかし、その費用は、過疎対策事業債(ソフト事業)の対象であるものの、非過疎地域においては、交付税措置がなされない起債となっている。

については、集約化や複合化により未利用となる施設の解体費に対し、交付税措置のある地方債の創設、または公共施設最適化事業債の起債対象とすることが、集約・複合化をさらに加速させることにつながると考える。

(3) 公共施設最適化事業債の延長

各自治体では、公共施設等総合管理計画を策定し、施設の適正配置を進めているが、公共施設最適化事業債は平成27年度から3カ年度という期限付きである。

今後本格的に展開される集約・複合化事業にとって、公共施設最適化事業債は必要不可欠な地方債である。この事業債の期限延長は、自治体の取組みの強い後押しになると考える。

ご静聴ありがとうございました。



和倉温泉と牡蠣棚 <http://www.wakura.or.jp/>



国指定史跡 七尾城跡



すし王国能登七尾 <http://www.su-si.net/>



能登のキリコ祭り(石崎奉燈祭)

【七尾市のご紹介】

開湯1200年を誇る和倉温泉

【由来】 和倉に暮らしていた漁師夫婦が、湯気立つ海で
白鷺が身を癒しているのを見て、『湯の湧き出づる浦』
= 涌浦(わくうら わくら)を発見。

- ・能登観光の拠点として、年間約94万人の入込客数。(H27年)
- ・第41回「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で、『加賀屋』が36年連続総合第1位。



和倉温泉湯っ足り(ゆったり)パーク

七尾城跡(国指定史跡)

- ・「日本百名城」「日本五大山城」
- ・七尾湾を一望する城山(標高約300m)を中心に、
七つの尾根に曲輪(くるわ)を配した大規模な山城。

16世紀前半 能登畠山氏が築城
1577年 上杉謙信の侵攻で落城
1581年 織田信長から能登一国を与えられた前田利家が入城



国指定史跡 七尾城跡

七尾ゆかりの著名人

- ・長谷川等伯 安土桃山時代の絵師：狩野派と並ぶ絵師
代表作：国宝『松林図屏風』、国宝『楓図』
- ・仲代 達矢 七尾市名誉市民・俳優・劇団無名塾主宰
「能登演劇堂」建設時に監修。
- ・辻口 博啓 パティシエ：洋菓子の世界大会で優勝多数
- ・角中 勝也 プロ野球選手：千葉ロッテマリーンズ
- ・松平兄弟 卓球選手：
賢二、健太（日本代表選手）、志穂
- ・宮下 英樹 漫画家：『センゴク』の作者
- ・乃木坂太郎 漫画家：『医龍』の作者
- ・輪島 大士 大相撲：元横綱
- ・輝 大士 大相撲：幕内（現役力士）



長谷川等伯像(JR七尾駅前)



能登演劇堂(借景を活かした舞台)
第6回ロングラン公演(無名塾)
2017年10月14日～11月12日
『肝っ玉おっ母と子供たち』